



1908年製 フォード モデルK 6-40 ロードスター



製造情報

製造商	フォード自動車
組付工場	ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	?
総生産量	8,828 (確認)
馬力	40
重量	2,400ポンド/ 1090キログラム
当時売価	\$2,800 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

ストレートシックス(直列6気筒)-極めてパワフルなエンジン

ヘンリーの自動車における展望に反し、富裕層向けに作られた車であった

このモデルは、「ジェントルマンズ・ロードスター(紳士のロードスター)」とも呼ばれた

時速70マイルで走行可能

強力な直列6気筒エンジン

モデルKは1906年に販売が始まり、1908年まで続いた。モデルKは、フォード車のラインアップにあるモデルBに代わる車であり、大型のツーリングカーとロードスター2種類のボディタイプがあった(掲載は義理母席が付いている車両)。また、モデルKは高級車市場に向けたものであり、強力な直列6気筒エンジンが特徴であった。俗説とは裏腹に、フォード・モーター・カンパニーにとってモデルKの売れ行きは良く、1906年には社の利益の85%以上をモデルKが占めていた。モデルTが登場する1908年まで、その堅調な売上は続いた。しかし、その品質は高級車の水準以下であるというのが自動車の批評家たちの見解であった。推定では、現存しているのは28台ほどである。

ラリー・D・ポーター収蔵品

この車は、ラリー・D・ポーター収蔵品からフォード・ピケット・アベニュー工場に貸し出された数多くの「アルファベット名の車」のうちの一台中の一台である。そのコレクションは、フォード・モーター・カンパニーが1903年にマック・アベニューで製造した車、そして1904年から1910年にかけてフォード・ピケット・アベニューの組み立て工場で製造した車をすべて揃えている。ピケット工場は、この収蔵車の展示を可能にしてくれたラリー・D・ポーター収蔵品に対し、非常に感謝している。